

福岡県学生ハンドボール選手権大会 感染対策ガイドライン

大会参加に関して、チーム責任者の管理下において、一般的感染症対策をとることに加えて、以下の感染予防対策を遵守することとする。

1. 大会前の健康チェックについて

- ・各チームの責任者は、自チーム選手スタッフ全員の健康チェックを責任を持って行う。
- ・体調不良者は大会に参加することはできない。
- ・大会前に体調不良があっても、次の **A・Bの両方の条件を満たしている** 場合、大会への参加を認めることがある。事前に体調不良者があった場合には大会本部へ確認をとること。

A 新型コロナ感染疑い症状の発症後、**8日以上経過**している。(発症日を0日として)

B 薬剤の服用がない状態で、解熱・症状消失して **3日以上経過**している。

(解熱・症状消失日を0日として)

2. 大会会場への移動について

- ・一般的な感染予防策を講じた上で、公共交通機関やチーム専用車両を利用する。
- ・自家用車による移動では、1台に複数人での利用をできるだけ行わない。
(2人以上で乗る場合には、マスクの徹底、座席間隔、開窓に配慮する)

3. 大会当日の注意事項

- ・入館時に各施設入り口に備え付けているサーモグラフィーにより検温を行う。
また、消毒液にて手指消毒を行う。
各チームの責任者は責任を持って参加者の体温を確認すること。
発熱者は入館することができない。
(37.5℃以上の発熱の場合、別の体温計にて検温を行う)

- 4. 体育館内では、試合をしない他チームとの接触をできるだけ避けることに心掛ける。
さらに、一般的な予防対策を徹底する。

- ア) トイレは常時利用可能
- イ) シャワー利用禁止
- ウ) 更衣室では密を避ける
- エ) フロア・観覧席以外のスペースの利用禁止

- オ) 会場の観覧席で、荷物管理、待機、食事は可能。
- カ) ゴミは各チーム持ち帰ることとする
- キ) 運営スタッフによる定期的な施設内の見回りを実施する

5. 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会後）

・大会終了後2週間は、自主的に体調チェックを行い、この期間に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、相談センター、かかりつけ医などに連絡後、必ず大会本部に報告すること。

競技上の感染予防対策に伴う注意点

- ① トス、ユニフォームチェック
前試合のハーフタイム時にコートオフィシャル席で行う。
- ② ウォーミングアップ（ボールを使用したもの）
前試合のハーフタイムにウォーミングアップを行うことができる。
できる限りマスクを着用すること。大きな声を出すことは控える。
- ③ コート内でのみマスクを外すことができる。ベンチでは役員、選手ともできる限りマスクを着用する。但し、指示を出すヘッドコーチ1名はマスクを外してよい。
- ④ 試合前後の挨拶は、選手同士、声を出さずに一礼のみとする。
試合後の相手ベンチ、審判、オフィシャル席への挨拶は割愛する。
- ⑤ 試合前後のハイタッチや握手は行わない。
- ⑥ タオル、ドリンクボトル、アイシングバッグなどの共有は禁止する。
- ⑦ ハーフタイム
選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）
- ⑧ 試合終了後
選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）